

会 議 録

会議名 (審議会等名)		第 1 回相模原市街路樹の管理方針・計画の策定に関する審議会		
事務局 (担当課)		路政課 電話 0 4 2 - 7 0 7 - 7 0 5 0 (直通)		
開催日時		令和 7 年 1 0 月 3 0 日 (木) 午後 2 時 3 0 分～4 時 3 0 分		
開催場所		相模原市民会館 3 階 第 1 中会議室		
出席者	委 員	1 1 人 (別紙のとおり)		
	その他	1 人 (相模原警察署交通第一課 巡査部長)		
	事務局	1 3 人 (都市建設局長、土木部長、土木部調整官、路政課長、 外 9 人)		
公開の可否		☒ 可 ☐ 不可 ☐ 一部不可	傍聴者数	0 人
公開不可・一部不可の場合は、その理由				
議 題		(1) 会長・副会長の選出について (2) 相模原市からの諮問について (3) 議案第 1 号 今後の街路樹管理の在り方について		

議 事 の 要 旨

審議会の冒頭、出席委員の人数が定足数に達していることを確認した。
主な内容は次のとおり。

議題

(1) 会長・副会長の選出について

委員の互選により、会長に池邊委員を、副会長に大沢委員をそれぞれ選出した。

(2) 相模原市からの諮問について

事務局より説明を行った。

(3) 議案第1号 今後の街路樹管理の在り方について

事務局より説明を行った。

また、相模原警察署 交通第一課 川原巡查部長より、次のとおり事例紹介があった。

(川原巡查部長) 街路樹は景観や環境にとって価値がある一方で、交通安全上のリスクを内包している。交通管理者である警察の視点から重要なのは、こうしたリスクを未然に防ぐために、信号や標識の視認性確保、歩道や車道の安全性維持、そして管理責任の明確化を図ることである。適切な剪定や維持管理を行うことで、交通事故の発生を防ぎ、安全な道路環境を確保することが求められている。

その後、意見交換を行い、次のとおり意見等があった。

(宮本委員) 相武国道事務所では、国道16号の管理をしている。国道16号の街路樹は約1,000本で、一番多いケヤキが500本強、イチョウが200本強、その他にハナミズキ等である。

街路樹の管理には、我々もかなり苦勞している。剪定は3年に1度程度の頻度で実施している。植樹から50年以上経っている樹木もあり、樹木医に診断してもらい、危険な樹木は伐採し、そうでないものはできるだけ長生きできるように取り組んでいるが、そうした管理も限界を迎えつつあると感じている。

市の管理方針・計画に、市道だけではなく国道も少し含めていただき、市全域としてどのように都市景観を保っていくのかなど、一緒に検討していただければと考えている。また、人件費の高騰などによりコスト管理が難しくなっている。例えば、植え替えるのであれば、地域の方にご意見をいただきながら、なるべく費用のかからない形で行うなど、今後の議論の中で検討できればと考えている。

(石川委員) 相模原造園協同組合の一員として、造園や緑地管理等の業務に長年携わっている。

街路樹の管理では、発注者（行政）の意向を優先して剪定する場合がある。

例えば、「この時期に強く剪定すると樹木が弱るのでは」と思うことがあっても、予算の都合等により「何年かに一度の剪定だから強く切ってほしい」という要望があれば、基本的にはそのとおりに対応する。「紅葉を楽しむ前に剪定してよいのか」と感じることもあるが、落葉前に剪定したいという発注者の意向に沿って対応している。

また、競争入札においては費用面での競争が重視され、丁寧で美しい樹木管理を目指しても、コスト面で競争に勝たなければ受注できないという難しさがある。管理面も含めて評価していただくなど、より良い受注環境が整うことを願っている。

(伊藤紀子委員) 国道１６号沿いの花壇整備に２１年間ボランティアとして関わっており、最初は相模原警察署前の花壇の草刈りから始めた。桜並木の下にある花壇では、日照等の影響で花が育ちにくかったが、自転車専用道路の整備に伴い、中央小学校の児童による花壇植栽活動を警察署前に移し、現在も春・秋に実施している。市役所前さくら通りの落ち葉掃き活動（アダプト活動）は平成２５年から開始し、１３年継続している。ケヤキの落ち葉を堆肥として活用する取り組みは３年前から開始し、ＳＤＧｓの観点から市の理解を得て希望者に配布しており、市税の節約にも貢献している。

気象の変化により、ケヤキの落葉時期が年々遅れており、管理や活動計画にも影響が出ている。市民を巻き込んだ活動や、自治会など様々な団体と連携した活動などを皆さんと一緒に考えていきたい。

(梅澤委員) 普段は樹木医として活動しており、街路樹診断なども業務の一環として行っている。審議会では、専門的な知識から問題提起を行いたいと考えている。

本日説明のあった街路樹に関する課題は、主に「管理」「計画」「生育環境」など、原因に応じて分類できると考えている。落枝事故や車両との接触は、日常の管理に起因する課題である。枝の張り出しによる歩道の狭小化も、管理の課題と言える。また、標識や信号が樹木で隠れていることも、管理が不十分なことによるものである。樹木の成長による道路への張り出しは、植栽の計画段階での樹種選定に起因している。樹木の衰弱は、生育環境が適切でないことに起因する。根の隆起による舗装の破損は、土壌の硬さや植栽環境など、計画と管理の両面に起因する複合的な問題である。また、落ち葉による排水不良や下

水管への侵入も、管理だけでは対応が難しい新しいタイプの複合的な問題である。街路樹の課題への対応を検討する際は、それぞれの問題が何に起因しているかを整理し、原因に応じた対策を講じることが重要と考えている。

(吉田委員) 本日説明があり、街路樹に関する課題やリスクが実際に顕在化しているということが分かった。近年の強風・水害・高温などの異常気象により、高温による道路のゆがみなど、今まで経験したことがない新たな課題が発生している。環境保全も重要と承知しているが、安全・安心な暮らしを確保するため、街路樹の管理においても、潜在的なリスクを可能な限り除去する対応が求められると感じている。

身近なところでも、街路樹のケヤキがどんどん大きくなり、危険な領域に入ってきたのではないかという不安がある。皆さんと意見交換しながら、安全面での対応を検討できればと考えている。

(若山委員) 小学校のPTA活動を通じて、校庭の樹木（特にイチョウ）の剪定や銀杏の収穫作業に携わった経験がある。子どもたちに「木も生きている」ということを伝える総合学習に関わり、自身にとっても良い学びの機会となった。今回の審議会への参加を通じて、街路樹についてさらに理解を深めていきたいと考えている。

(辻野委員) 専門ではないが、街路樹に関心があり公募委員に応募した。

街路樹の剪定が3年に1度と聞いて納得したが、棒のように剪定された樹木が痛々しく見えて、違和感を覚えることがあった。樹木の下から伸びてくる芽が見通しを悪くしているとのことだったが、樹木が必死に生きようとしているようにも感じられ、剪定の方法や頻度について検討の余地があると思っている。

街路樹の本数を減らしたとしても、樹木が「幸せな形」で生きられるような管理のあり方を模索したい。

温暖化の進行により、街路樹の持つ機能の重要性が高まっており、迷惑な存在と捉えるのではなく、プラス面も踏まえた管理が必要と考えている。街路樹も「生きている存在」として、いかに健全に、幸せに生かしていくかを考えることが大切だと感じている。

(伊藤裕子委員) 専門外の立場ながら、街路樹に関心を持ち、今回の会議に参加した。自宅前の街路樹をプラタナスと思っていたが、実際はユリノキだったことを知り、樹木への理解が深まった。街路樹に関する多くの課題があることを今回初めて知った。

個人的な経験として、幼少期に大雨でさくら通りが浸水した際、蓋を外してあったマンホールに落ちて危うく流されるところだった経験がある。

街路樹の管理においても、様々な課題がある中で、市民の安全確保が重要な要素だと感じている。今後、街路樹についてさらに学び、理解を深めていきたいと考えている。

(田嶋委員) 多摩美術大学の建築環境デザイン学科に所属し、景観計画、色彩設計などの他、公園設計に30年以上携わってきた経験がある。

説明資料について、令和3年度以降に要望対応件数が急増しているとのことだったが、職員数の減少が苦情の増加につながっていることを読み取ることができ、維持管理には相応のマンパワーが必要なことを表していると理解した。

街路樹に対する見方は、立場によって大きく異なると考えており、道路管理者は安全確保を重視し、道路の利用者(車・歩行者・近隣住民等)はそれぞれ異なる視点を持っている。街路樹管理は、動植物の生物多様性や、CO₂固定など地球温暖化への対応、土壌の問題など、人間以外からの視点というものも考えなければならないと思っている。今後の審議会では、こうした多様な視点を踏まえた議論を進めていきたいと考えている。

(大沢副会長) 対象とする道路の範囲を明確にする必要がある。市が管理する道路だけでなく、直轄国道や農業関係の土地改良法に基づく道路(農道)を対象とするのかも含めて、整理すべきである。

今回策定する方針・計画に基づき事業を実施する際には、街路樹単体で進めることが難しい場合もあると思われるため、例えば無電柱化推進計画など、他の事業と連携して進める視点が重要である。今回の資料では、街路樹だけの管理方針・計画となっているが、もう少し広い視点で検討してもいいのではないかな。

(池邊会長) 会議録の作成に当たり、会長一任とすることで、よろしいか。

(総員) 異議なし

その他

(1) 現地視察

市道市役所前通及び市道南橋本弥栄荘の街路樹(ソメイヨシノ、ケヤキ、ユリノキ等)を徒歩で視察した。

以 上

相模原市街路樹の管理方針・計画の策定に関する審議会
委員出欠席名簿

	氏 名	所 属 等	備 考	出欠席
1	池邊 このみ	千葉大学 グランドフェロー	会 長	出席
2	大沢 昌玄	日本大学 教授	副会長	出席
3	田嶋 豊	多摩美術大学 教授		出席
4	宮本 雄一	相武国道事務所 事務所長		出席
5	石川 正典	相模原造園協同組合 理事		出席
6	伊藤 紀子	F・C ボランティア 代表		出席
7	梅澤 将司	特定非営利活動法人 みどりのお医者さん 理事		出席
8	吉田 貴亮	相模原市自治会連合会 理事		出席
9	伊藤 裕子	公募委員		出席
10	辻野 泰子	公募委員		出席
11	若山 美代子	公募委員		出席